

## パブリックコメント時の計画

また、本市の地域特性として、市内に5つの大学が立地していることから、各大学と連携し様々な取組みを行っています。広島大学では脱炭素に向けた取組みの一環として、脱炭素を実現する「広島シナリオ」の展開を提唱しています。

広島シナリオとは、都市ガス、プロパンガス、ガソリン、軽油、灯油の使用機器を全て電化し、農地等を活用して太陽光発電電力を供給、発電と電力需要のミスマッチに蓄電池で対応し、地中熱、バイオ燃料等の再生可能エネルギー、電気自動車（EV）等の代替蓄電池をできる限り導入してコストの低減を実現するものです。

広島シナリオのアクションは図1-4に示すとおりであり、令和32（2050）年のゼロカーボンシティの実現に向けた中長期的な視点を有した脱炭素を実現するためのアクションが整理されています。

**アクション1 電化を進める**

電化を行い、分散型の二酸化炭素排出源を失くす

**アクション2 太陽光電力を供給する**

ソーラーシェアリング※による電気の生産・供給

**アクション3 蓄電池で電気をためる**

蓄電池による太陽光発電の蓄電

**アクション4 適切な技術を入れる**

蓄熱、地中熱等、適材適所のエネルギー利用

図1-4 広島シナリオのアクション

出典：「脱炭素を実現する広島シナリオ」

※（2022.9.21版、広島大学エネルギー超高度利用研究拠点（HU-ACE））を一部編集

これら地球温暖化の現状や国内外、広島県及び本市の近年における地球温暖化に係る動向の変遷に対応した、新しい東広島市地球温暖化対策実行計画を改訂する必要があります。

※ソーラーシェアリング：農地に支柱等を立てて、その上部に設置した太陽光パネルを使って日射量を調節し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組みをいう。

## パブリックコメントを受けて見直した計画

また、本市の地域特性として、市内に5つの大学が立地していることから、各大学と連携し様々な取組みを行っています。広島大学では脱炭素に向けた取組みの一環として、脱炭素を実現する「広島シナリオ」の展開を提唱しています。

広島シナリオとは、都市ガス、プロパンガス、ガソリン、軽油、灯油の使用機器を全て電化し、**未活用面積**等を活用して太陽光発電電力を供給、発電と電力需要のミスマッチに蓄電池で対応し、地中熱、バイオ燃料等の再生可能エネルギー、電気自動車（EV）等の代替蓄電池をできる限り導入してコストの低減を実現するものです。

広島シナリオのアクションは図1-4に示すとおりであり、令和32（2050）年のゼロカーボンシティの実現に向けた中長期的な視点を有した脱炭素を実現するためのアクションが整理されています。

**アクション1 電化を進める**

電化を行い、分散型の二酸化炭素排出源を失くす

**アクション2 太陽光電力を供給する**

ソーラーシェアリング※による電気の生産・供給

**アクション3 蓄電池で電気をためる**

蓄電池による太陽光発電の蓄電

**アクション4 適切な技術を入れる**

蓄熱、地中熱等、適材適所のエネルギー利用

図1-4 広島シナリオのアクション

出典：「脱炭素を実現する広島シナリオ」

※（2022.9.21版、広島大学エネルギー超高度利用研究拠点（HU-ACE））を一部編集

これら地球温暖化の現状や国内外、広島県及び本市の近年における地球温暖化に係る動向の変遷に対応した、新しい東広島市地球温暖化対策実行計画を改訂する必要があります。

※ソーラーシェアリング：農地に支柱等を立てて、その上部に設置した太陽光パネルを使って日射量を調節し、太陽光を農業生産と発電とで共有する取組みをいう。

2.6 市民・事業者・行政の脱炭素に向けた主な取組み

2.6.1 基本的な考え方

本計画で掲げる削減目標の達成のためには、市民・事業者・行政が協働するとともに、脱炭素に向けた個別の取組みを推進していく必要があります。

市民・事業者・行政の脱炭素に向けた主な取組みは、図 2-10 に示すとおりです。本市が本計画の責任主体となり、市民・事業者へ啓発等を行いながら、第 3 章に掲げる S-TOWN プロジェクトを推進していきます。

市民は、自らが実践できる取組みとして、省エネ行動の推進や再エネの導入を積極的に図ります。事業者についても、市民と同様に自らが実践できる取組みとして、省エネ行動の推進、再エネの導入を図るとともに、特定排出事業所においては各事業所の脱炭素に向けた個別の取組みを強化します。

また、行政として、市域での脱炭素の推進を力強く進めるために、福富地域や広島大学を中心とした脱炭素先行地域の形成を目指します。

なお、2050 年ゼロカーボンに向けた取組みの一環として、広島大学提唱の「広島シナリオ」を中長期的な考え方の礎として据えて、確実な「東広島市ゼロカーボンシティ宣言」の実現を目指します。



図 2-10 市民・事業者・行政の脱炭素に向けた主な取組み

2.6 市民・事業者・行政の脱炭素に向けた主な取組み

2.6.1 基本的な考え方

本計画で掲げる削減目標の達成のためには、市民・事業者・行政が協働するとともに、脱炭素に向けた個別の取組みを推進していく必要があります。

市民・事業者・行政の脱炭素に向けた主な取組みは、図 2-10 に示すとおりです。本市が本計画の責任主体となり、市民・事業者へ啓発等を行いながら、第 3 章に掲げる S-TOWN プロジェクトを推進していきます。

市民は、自らが実践できる取組みとして、省エネ行動の推進や再エネの導入を積極的に図ります。事業者についても、市民と同様に自らが実践できる取組みとして、省エネ行動の推進、再エネの導入を図るとともに、特定排出事業所においては各事業所の脱炭素に向けた個別の取組みを強化します。

また、行政として、市域での脱炭素の推進を力強く進めるために、福富地域（行政施設）や広島大学を中心とした脱炭素地域づくりを目指します。

なお、2050 年ゼロカーボンに向けた取組みの一環として、広島大学提唱の「広島シナリオ」を中長期的な考え方の礎として据えて、確実な「東広島市ゼロカーボンシティ宣言」の実現を目指します。



図 2-10 市民・事業者・行政の脱炭素に向けた主な取組み

パブリックコメント時の計画

2.6.2 具体的な取組み

具体的な取組みは、表 2-17 に示すとおりです。

本市は、これまでの取組みを継続すること、また、国の補助金等を活用することで、市民・事業者が積極的に再生可能エネルギーの導入を図れる新たな取組みを実施します。

表 2-17 具体的な取組み

既存の取組みと新規の取組み		取組み概要
これまでの取組み	スマートハウス化支援補助	住宅のスマートハウス化を支援するため蓄電池 <sup>※</sup> 等の設置を補助
	東広島エネバンク	J-クレジット制度を活用し、市内事業者等への販売を想定
	スマートオフィス・ファクトリー化の推進	事業者の省エネ設備導入に係る省エネ診断・補助金申請の補助
	COOL CHOICE の推進	地球温暖化対策に貢献する賢い選択(省エネ設備買替え等)の推進
	大学と連携した市民講座の開催	大学と連携し、専門家による環境等について学ぶ市民講座を開催
新たな取組み	太陽光発電設備・蓄電池設置補助	太陽光発電設備・蓄電池の設置を補助(蓄電池は事業者対象)
	高効率空調・LED 設置補助	高効率空調設備、LED の設置を補助(事業者対象)

<sup>※</sup>蓄電池：使用後も充電することによって、再度使用することが可能な電池。充電・放電を繰り返すことができることから、二次電池・バッテリーともいう。

パブリックコメントを受けて見直した計画

2.6.2 具体的な取組み

具体的な取組みは、表 2-17 に示すとおりです。

本市は、これまでの取組みを継続すること、また、国の補助金等を活用することで、市民・事業者が積極的に再生可能エネルギーの導入を図れる新たな取組みを実施します。

なお、太陽光発電設備・蓄電池等の廃棄物が令和 12 (2030) 年代以降、急激に増加することが予測されていることから、その廃棄・リサイクル問題について、国等の動向も踏まえ、法令等に則り、対策について検討を行ってまいります。

表 2-17 具体的な取組み

既存の取組みと新規の取組み		取組み概要
これまでの取組み	スマートハウス化支援補助	住宅のスマートハウス化を支援するため蓄電池 <sup>※</sup> 等の設置を補助
	東広島エネバンク	J-クレジット制度を活用し、市内事業者等への販売を想定
	スマートオフィス・ファクトリー化の推進	事業者の省エネ設備導入に係る省エネ診断・補助金申請の補助
	COOL CHOICE の推進	地球温暖化対策に貢献する賢い選択(省エネ設備買替え等)の推進
	大学と連携した市民講座の開催	大学と連携し、専門家による環境等について学ぶ市民講座を開催
新たな取組み	太陽光発電設備・蓄電池設置補助	太陽光発電設備・蓄電池の設置を補助(蓄電池は事業者対象)
	高効率空調・LED 設置補助	高効率空調設備、LED の設置を補助(事業者対象)

<sup>※</sup>蓄電池：使用後も充電することによって、再度使用することが可能な電池。充電・放電を繰り返すことができることから、二次電池・バッテリーともいう。